



平成

25

年度

2013

ソフト面の研修事業として、老人介護施設職員の資質向上を目的とした職員向けの接遇研修会を始め8回実施し参加者の意見を取り入れ研修内容の充実をはかり三重県下205施設259名の参加を得て実施した。

ハード面の助成事業として、老人施設の福祉環境充実を図る目的で各種車椅子等7種類の備品を寄贈、高齢者の増加に伴い介護施設での感染予防対策や環境整備の観点から空気清浄機の活用が増加している為、イオン発生機プラスマクラスターを寄贈し吉田逸郎理事長から目録並びに備品の贈呈を行った。

記念講演では南海トラフでは、今後30年以内にM8クラスの地震の発生確率70%程度と言われ近年風水害が発生して多大な被害を受けております、そのような状況の中、介護施設に於いても対策に苦慮されているものと思ひ、三重県防災対策部・防災企画地域支援課・防災技術専門員の南隆男講師の「災害から身を守る知恵!」と題した講演を行いました。助成を受けた、(社)北斗会吉田施設長と(社)青松園長谷川施設長の二法人から寄贈並びに施設職員研修会開催の感謝及び助成品の活用状況等法人の活動報告を受けた。

11月22日の役員会開催の後、理事、評議員、事務局を合わせ16名が式年遷宮が行われた伊勢神宮内宮を参拝、神楽殿で神楽を奉納し昇殿前では理事長吉田逸郎が玉串を奉納し財団法人吉田福祉基金の繁栄と役職員の健康を祈願した。

5月23日冒険家三浦雄一郎(80歳)世界最高峰のエベレスト登頂に成功、80歳での登頂は史上最高齢記録となる、高齢社会が進むなか元気高齢者の出現でる。

6月22日世界遺産委員会は「信仰の対象と芸術の源泉」と評価し「富士山」を世界文化遺産に登録決定した。

7月21日第23回参議院選挙で自民党が第一党に復帰「ねじれ」状態を解消する。

8月12日も日本列島は厳しい暑さが続き高知県四万十市で気温41度の国

内観測史上最高を記録した。

8月22日米大リーグ、ヤンキースのイチロー外野手(39歳)(本名・鈴木一郎)プロ22年目で史上3人目の日米通算4000本安打を達成する。

9月9日2020年の第32回夏季五輪・パラリンピック大会の開催地が東京に決定。

9月10日東日本大震災後2年6カ月が経過しても行方不明者の捜索が難航しいまだ2654人の行方不明者がいる。

9月16日気象庁が8月30日から運用を始めた特別警報を初めて福井、滋賀、京都の三府県で、大雨特別警報として発表した。

10月2日飛鳥時代の690年に始まった式年遷宮が伊勢神宮内宮で静寂の暗闇の中、絹の幕に囲まれて現正殿から新正殿へご神体に移された、翌5日には外宮でも同じ行事が取り行なわれ20年に一度社殿などを建て替える第62回式年遷宮は終了した。

10月16日台風26号に伴う記録的な大雨で伊豆大島では24時間の雨量が800ミリを超え、土砂崩れが発生多くの建物が壊れ死者行方不明者64人が出した。

10月28日に「打撃の神様」として知られ、日本プロ野球史上に輝く金字塔の礎となった、川上哲治が惜しまれながらこの世を去られた。

2月17日は三重県に大雪警報が発表され、関東甲信と東北地方に記録的な大雪をもたらし6都県に9千人以上が孤立し、県内でも伊勢自動車道の松阪・伊勢間や紀勢自動車道では翌日の正午過ぎまで通行止めが続き何十年ぶりかの大雪となった。

2月に行われたソチ冬季オリンピックでは10代の選手が大活躍をおさめ選手団は大会を通じ金1・銀4・銅3個という結果となり8個は2番目に獲得となり無事閉会した。

3月10日東日本大震災後3年経過しても行方不明者の捜索が難航しいまだ2,633人の行方不明者と仮設住宅等での避難者は26万7,419人になっている。

平成25年度助成事業目録贈呈式



長谷川順一常務理事挨拶



寄贈品並びに目録贈呈



贈呈式

平成25年度助成事業目録贈呈式



記念講演



活動報告 吉田北斗会施設長



活動報告 長谷川青松園施設長

老人福祉施設等整備事業(助成・寄贈)

2,370,825円

平成25年度
寄贈品
一覧



自走式・介助用車椅子／24台



フルリクライニング車椅子／12台



マイチルト車椅子／4台



衝撃吸収マット／2台



離床センサー／9台



エアーマット／4台



イオン発生機プラズマクラスター／4台

<p>多気町</p>	<p>老人福祉環境整備事業</p> <p>会館利用者の高齢化に伴い安全を確保するため</p> <p>◆ 自走式介助用車椅子 1施設 2台</p>	<p>30,320円</p>
<p>多気町 社会福祉協議会</p>	<p>老人福祉環境整備事業</p> <p>天啓の里・ささゆり苑の貸出用の不足、デイでの不足</p> <p>◆ 自走式介助用車椅子 1施設 3台</p>	<p>45,480円</p>
<p>近 隣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 松阪市 ・ 伊勢市 ・ 多気郡 ・ 度会郡 <p>各老人福祉施設</p>	<p>老人福祉環境整備事業</p> <p>所有備品の老朽化、介護度の高い利用者が増加し不足と更新</p> <p>◆ 自走式介助用車椅子 2施設 6台</p> <p>(社) 伊勢医心会 (特養 神路園) 3台</p> <p>(社) 司 会 (老保 弘樹苑) 3台</p> <p>◆ 自走式介助用車椅子 1施設 1台</p> <p>(社) 松阪市社会福祉協議会 (デイ 三雲支所)</p> <p>◆ フルリクライニング車椅子 2施設 2台</p> <p>(社) 育心会 (特養 松阪天啓苑)</p> <p>(社) 北斗会 (特養 大宮園)</p> <p>◆ マイチルト車椅子 3施設 3台</p> <p>(社) 三重豊生会 (特養 多気彩幸)</p> <p>(社) 伊勢市社会福祉協議会 (デイ みなとデイセンター)</p> <p>(社) 玉城町社会福祉協議会 (通所)</p> <p>利用者の安全確保とベットでの動向を把握するため</p> <p>◆ 離床センサー 3施設 3台</p> <p>(社) 長寿会 (短期 なでしこ苑)</p> <p>(社) 笠木御所桜会 (特養 ときだの里)</p> <p>(社) 慈恵会 (特養 正邦苑)</p> <p>褥瘡の入所者の予防、床ずれ防止</p> <p>◆ エアーマット 4施設 4台</p> <p>(社) 愛恵会 (介老 花みずき)</p> <p>(社) むつみ福社会 (特養 むつみ園)</p> <p>(社) キングスガーデン三重 (特養 大台共生園)</p> <p>(社) ゆり (介老 はなのその)</p> <p>利用者の体調管理と環境改善 (かぜ予防) 感染予防</p> <p>◆ イオン発生機プラズマクラスター 2施設 2台</p> <p>(社) 度会町社会福祉協議会 (通所 れんげ草)</p> <p>(社) 南伊勢町社会福祉協議会 (通所 ふれあいなんとう)</p>	<p>856,555円</p>

左記以外の
県下各市町の
老人福祉施設

老人福祉環境整備事業

1,438,470円

車椅子利用者の増加による不足と老朽化による更新、利用者の高齢・重度化に伴う利用者増と老朽化による更新・重度化に伴う機能の高い車椅子の提供、貸出事業の整備

◆ 自走式介助用車椅子 4施設 12台

- (社) ウエルケア(デイ サポート) 3台
- (社) 津市社会福祉協議会(通所 白山支所) 3台
- (社) かがやき福祉会(特養 かがやきの杜鈴鹿) 3台
- (社) 菰野町社会福祉協議会(デイ けやき) 3台

◆ フリクライニング車椅子 10施設 10台

- (社) 青松園(特養 青松園)
- (社) こしば福祉会(介老 トマト)
- (社) はまゆう会(特養 第二フルハウス)
- (社) 明光会(特養 笑美の里)
- (社) 長茂会(特養 あかつき)
- (社) 菊寿会(特養 みやま園)
- (社) エイジハウス(特養 エイジハウス)
- (社) 志摩市社会福祉協議会(通所 きらり)
- (社) 健和会(特養 パークレジデンス)
- (社) いがほくぶ(特養 彩四季)

◆ マイチルト車椅子 1施設 1台

- (社) 弘仁会(特養 国津園)

体調の悪い入所者、認知症のベットからの転倒保護

◆ 衝撃吸収マット 1施設 2台

- 三重郡老人福祉施設組合(養護 みずほ寮)

身体機能の重度化、利用者の寝たきりや認知症が増加しナースコールが使用できず、ベットからの転倒防止、安全・安心確保に不可欠

◆ 離床センサー 4施設 4台

- (社) 絆(特養 みえ愛の里)
- (社) 明合乃里会(介老 つつじの里)
- (社) 憲甚会(特養 ソフトハウス)
- (社) 光風会(特養 アイリス)

利用者の重度化で、寝たきりが増加しているため褥創及び疾病予防、

◆ エアーマット 5施設 5台

- (社) 紀南特養老人ホーム組合(特養 宝寿園)
- (社) 翠明院(養老 翠明院)
- (社) 風薫会(デイ みなと在宅介護)
- (社) 英水会(特養 英水苑)
- (社) 青山里会(特養 第二小山田)

環境整備、感染症予防対策、

◆ イオン発生機プラズマクラスター 2施設 2台

- (社) 素問会(特養 芹の里)
- (社) 御浜町社会福祉協議会(通所)

介護事業施設職員接遇研修会に先がけ、平成25年度介護事業施設職員研修会の開校式を行い長谷川常務理事の挨拶の後、今年度実施予定の8回の研修会をスタートさせた。



長谷川順一常務理事挨拶

第1回 介護施設職員研修会（接遇3年未満）（19）

（参加 36施設 50名）5月23日

法人（愛恵会・長寿会・三重高齢者福祉会・むつみ福祉会・斎宮会・育心会・笠木御所桜会・キングスガーデン三重・司会・三重豊生会・吉清会・松阪市社協・多気町社協・明和町社協・大台町社協・玉城町社協・青松園・こしば福祉会・白壽会・素問会・絆・明光会・明合乃里会・菊寿会・杏南会・紀南特養ホーム組合・かがやき福祉会・福寿会・恵成会・青山福祉会・弘仁会）

新規採用から3年未満の介護施設職員を対象にした接遇研修も回を重ねる毎に参加者も増え福祉業務に携わって1年未満の受講生から経験豊富な受講生まで幅広い参加となり年々希望者も増え接遇研修の必要性の高さを実感する。

介護職の仕事をして行く上で特に1年未満の受講生には接遇マナーの研修は初めての人が大半で利用者への対応の仕方の難しさを勉強し自分の仕事に誇りを持ち充実した毎日を過ごし利用者に満ち足りた気分を与え、お互いの成長の手伝をするための研修で職場での実践に繋げてもらいたい。

講演 “心からのサービス” 介護従事者の接遇マナー

講師 エム・アール・シー 足坂三長・井ノ口美津子

1. オリエンテーション
2. 社会人としての心構え
必要な基本能力とは、職場のエチケット、第一印象の大切さ
3. お客様を迎えるマナー
挨拶と丁寧なお辞儀、表情の大切さ、感じのよい態度、身だしなみとオシャレ
4. 社会的な言葉づかい

- 依頼文・肯定文、職場での言葉づかい、話し方の工夫
5. 応接の基本動作
物の授受、名刺の交換、指し示し方・案内の仕方・印鑑の処理・書類の破棄
 6. 利用者送迎の対応
訪問時のマナー、言葉のトレーニング、送迎時の対応実習
 7. ビジネス電話対応
電話の受け方・かけ方、事例による対応実習、取次ぎ電話対応・伝言メモ・道案内
 8. サービスの心得



受講生の感想

表情・言葉・態度の大切さを実感、笑顔を忘れず常に見られていることを意識したい、相手に伝えることの大切さを実感、言葉一つで相手に与える良し悪しが決まる、家族とのコミュニケーションが大切なことを実感、挨拶・表情・姿勢・言葉使いをもう一度振り返って見たい、分かりやすい研修ですぐ仕事で活かせる内容だった、自分を見つめ直す研修となった、話し方声の大きさが介護サービスに繋がることを勉強した。

第2回 介護施設職員研修会（接遇4年以上）（20）

（参加 32施設 40名）6月13日

法人（愛恵会・むつみ会・育心会・笠木御所校会・キングスガーデン三重・三重豊生会・吉清会・松阪市社協・多気町社協・玉城町社協・青松園・こしば福祉会・ウエルケア・白寿会・素問会・絆・明合乃里・長茂会・菊寿会・杏南会・津市社協・紀南特養ホーム組合・福寿会・恵生会・青山福祉会・三重郡老福組合）

介護職務4年以上の職員を対象とした研修ですが経験豊かな職員でも接遇研修は初めてという職員も多く毎回定員をはるかに超える受講者で一人一人熱心に研修を受け自分の物にしようとの努力が感じられ研修の成果を職

場に帰ってフィードバックして行きたいとの感想も聞かれました。

介護職として利用者に対しての声掛けやコミュニケーションの取り方等、接遇の必要性の認識を高め電話対応の実技では相手が見えないため早口になったり喋り方に強弱が付けられずに一本調子になる応対等難しさが感じられ対応の善し悪しが施設のイメージに大きく影響することの研修でもあった。



講演 “心からのサービス” 介護従事者の接遇マナー

講師 エム・アール・シー 足坂三長・井ノ口美津子

1. オリエンテーション
2. 心のこもった話し方
話し方の工夫・職場での話し方・介護での声の掛け方・話し方、聞き方のマナー
3. コミュニケーション
コミュニケーションとは・悪くなる要因・コミュニケーションの取り方・グループ討議・発表
4. 基本行動とマナーの見直し
応接の基本動作（物の授受・名刺の交換）・第一印象と挨拶・表情と態度・身嗜みと言葉遣い
5. 来客・訪問対応
来客訪問のマナー・来客訪問の対応用語・グループで応対実習（お迎えからお見送り）
6. 信頼される電話対応
電話の受け方、掛け方・事例による応対実習（取次ぎ、苦情電話）・イレギュラーな応対
7. まとめ
職員の物差しでサービスを考えると失敗する。サービスには「時間も」「お金も」かからない。お客様は、皆さんの「笑顔と行動」を見てい

る事を、常に意識する。笑顔で接したら争いごとは起こらない。

受講生の感想

一方的な自己満足ではない真のサービスが出来るよう心掛けたい、職員間介護者のコミュニケーションの大切さを実感、第一印象の大切さを実感、日頃の行動みだしなみに気を付けたい、信頼される職員になりたい、自分自身を見直す研修となった、心に余裕を持った話し方の大切さを実感、常に相手の立場に立った対応を心掛けたい。

第3回 福祉レクリエーション研修会（6）

（参加 31施設 36名）7月11日

法人（愛恵会・長寿会・三重高齢者福祉会・むつみ福祉会・育心会・キングスガーデン三重・吉清会・伊勢市社協・多気町社協・玉城町社協・大紀町社協・南伊勢町社協・宮川福祉施設組合・青松園・こしぼ福祉会・ウエルケア・白寿会・絆・明合乃里会・菊寿会・杏南会・エイジハウス・青山里会・福寿会・恵成会・青山福祉会）

運動や娯楽で心身を爽快にし気晴らしや休養を取り入れた集団レクで遊びから価値を引き出し生活を活性化し利用者にも楽しんで頂き自分も楽しむ。

レクリエーションの中にゲームを取り入れて利用者さんを楽しく生活の場に繋げて行き利用者の幸せ、助け合い個々の援助を行う。

毎日楽しく笑って生活できれば健康で生きがいを持って生活できれば・・・レクリエーション財を通してアプローチ法を学ぶ。



講演 福祉レクリエーション

講師 三重県レクリエーション協会 伊藤準康

1. 体験しよう

導入や交流、自己表現に活用できるレクリエーション財を体験する

2. レクリエーションとは？

仕事や勉強等の疲れを、休養や娯楽によって肉体的、精神的に回復すること

3. 高齢化社会の課題とレクリエーション
 - 高齢者の現状と課題
 - レクリエーションの生活化
 - 生活のレクリエーション化
4. 実技指導レクリエーション支援の方法
 - アレンジ法を考えよう
 - アレンジ（レクリエーション支援）のポイント
 - ハードル設定とCSSプロセス

受講生の感想

身の回りのある物を簡単に利用出来ることを学べた、考え方を変えると幾つものレクの応用ができる、工夫次第でいろいろのレクができる、楽しみながら研修が出来た、利用者さんに合ったレクを心掛けたい。

第4回 認知症介護研修会（7）

（参加 28施設 36名）8月22日

法人（愛恵会・長寿会・三重高齢者福祉会・むつみ福祉会・笠木御所桜会・キングスガーデン三重・吉清会・伊勢市社協・多気町社協・玉城町社協・南伊勢町社協・青松園・こしば福祉会・ウエルケア・白寿会・絆・明合乃里・菊寿会・杏南会・エイジハウス・福寿会・恵成会・青山福祉会・弘仁会）

認知症高齢者の方に対する介護サービスの提供には、より高度な専門性が必要なことから高齢者介護実務者及びその指導的立場にある者に対し認知症介護に関する研修を実施し認知症介護技術の向上を図ることを目的とします。

施設において認知症の利用者が増える中、介護職員の介護対応が切実な問題として起こっており認知症の人への対応として介護（快護）の「さわやかに」「さらりと」「さりげなく」を三つの基本とした介護の実践。



講演 認知症介護研修 「認知症の人へのかかわりを振り返る」**講師 サポートさくら 大西道子、野口美枝**

認知症の介護は本人が何をしたいかを察知し、出来るだけ本人の気持ちを大事にし自分で出来るように支援する、介護者の都合で認知症の人の行動を迎え込んだり介護漬けにしない。

記憶が不安定になっているので、以前のことを聞き出すようなことはしないでアドバイスをするような接し方をする。

1. 認知症の人の心の変化と支援のポイント（講義）
2. 映画「折り梅」観賞

映画を見ながら場面と主人公が体験している気持ち、状態、その理由を観察しメモする（演習1）

3. 演習

映画「折り梅」の観賞を通じて いくつかの場面の、利用者の気持ちと家族の対応方法から、適切な支援の方法を考える

4. まとめ・認知症の人とのコミュニケーションの取り方

受講生の感想

グループで他施設との意見が聞けて参考になった、介護の基本の見直しができ参考になった、家族の話も聞き心のケアができれば、声掛けをするときはジェスチャーや眼を合わせた会話等に心掛けたい、グループでのディスカッションは大変参考になった、対応の仕方や入居者様への接し方を見直す研修であった、利用者様との信頼関係を築いて行くことの大切さが学べた、認知症介護の基本を見直すことが出来た。

第5回 介護技術研修会（5）

（参加 18施設 20名）9月12日

法人（愛恵会・長寿会・斎宮会・育心会・吉清会・伊勢市社協・多気町社協・玉城町社協・青松園・ウエルケア・明合乃里会・杏南会・エイジハウス・紀南特養ホーム組合・青山福祉会）

介護予防とは、寝たきりなどの介護が必要な状態にならないように心身の衰えを予防、回復しようという取り組みを言い実際に介護予防運動や体操を取り入れて介護予防への取り組みの重要性を研修。

車椅子では操作方法や走行時の注意点、各パーツの名称や整備状況等の確認の必要性、移動介助は実際に横断歩道、芝生広場、段差、坂道で移動して室内や野外で利用者が体感していることを参加者もその場その場での恐怖感を感じながらお互いが体験し利用者へ接する際の傾聴の心持ちの大切さ等実技を中心とした研修。

講演 運動機能向上維持のための通所サービスの実際・車いすでの移動介助**講師 サポートさくら 大西道子、野口美枝**

介護が必要となるきっかけは、「ケガや衰弱などによる運動機能の低下」「閉じこもり」「食欲の低下や食生活の変化」など。

一度寝込んでしまうと、身体機能の低下や心理的不安を招き、さらなる運動機能の低下（ふらつく、転倒等）に怠りやすくなる。また栄養が不足すれ

ば、体力が低下し、活動量が減ることになり、転倒しやすくなるなど、寝たきりの状態になる危険性はさらに高まる。

そのような状態にならないためには、この悪循環・連鎖を断ち切ることが重要である。

身体状況や目的にあわせての車椅子の選定、介助される人の気持ちを理解して丁寧に介助する。

1. 介護予防への取組みの重要性
 - 1) 通所サービスで取り組んでほしい介護予防運動
柔軟体操・バランス訓練・筋力向上訓練
 - 2) 座って楽しく出来る介護予防運動
広告紙を使って・お手玉を使って・歌にあわせた体操
2. 車いすでの移動介助について
3. 車いす介助の体験演習
外へ出かけよう！（野外での実技）
4. グループワーク（感想・まとめ）



受講生の感想

車椅子操作では基本を再確認できた、常に声掛けを心掛けたい、普段経験のない体験ができた、利用者がどのように感じ不安感を覚えているのかの体験ができた、野外での操作を実際に体験できて勉強になった、車椅子サイズの認識不足、車椅子に密着することが利用者が安心する。

日頃の現場で役立つ研修でした、利用者さんに楽しんでいただくよう心掛けたい、充実感を感じる研修でした。

第6回 介護技術研修会（6）

（参加 25施設 28名）10月31日

法人（愛恵会・長寿会・斎宮会・育心会・笠木御所桜会・吉清会・伊勢市社協・多気町社協・玉城町社協・青松園・明合乃里会・菊寿会・杏南会・エイジハウス・紀南特養ホーム組合・青山福祉会）

口腔ケアでは介助される側の気持ちを理解し、介護のポイントを学習し利用者、介護者、観察者を交代して実施体験する。

移乗・移動の介助のコツを掴み、安全に介助し、介助される側の気持ちを理解し、介護のポイントを学習し利用者、介護者、観察者を交代で実施し、それぞれが感じたこと学んだこと等をグループで話し合い整理し演習を通じて学んだことを共有する研修。



講演 介護技術研修（口腔機能を向上させるためのケア・ベット上の移動と移乗）

講師 サポートさくら 野口美枝

1. 口腔ケアの必要性と実施する時のポイント
2. 口腔ケア介助の方法と留意点（演習）
3. 口腔ケアの実施体験（演習）
4. グループワーク、発表
5. ベット上の移動と移乗介助のポイント
6. ベット上の移動と移乗介助のポイント（演習）
7. グループ・ワーク、発表

受講生の感想

毎日の業務の中での声掛けの必要性を実感、口腔ケアの実技を2人1組で試してみても利用者の気持ちを実感した、移動移乗は利用者の残存能力を生かしてもらおう事がわかった、自然な動きを取り入れることの重要性が学べた、介護者と利用者との負担の少ない介助方法でより良い介護をして行きたい、研修成果を職場で生かして行きたい、他施設の意見も参考になった。

第7回 介護職場の課題解決研修会（8）

（参加 16施設 21名）11月14日

法人（長寿会・三重高齢者福祉会・笠木御所桜会・むつみ福祉会・キングスガーデン三重・多気町社協・玉城町社協・青松園・ウエルケア・明合乃里会・菊寿会・憲甚会・青山福祉会）

この、研修はお互いの協力で進めて行きます。相手の鏡となり素直な心でフィードバックをして、お互いの成長のお手伝いをして下さい。

介護・福祉施設の利用者やその家族の期待するサービスを常に意識しながら行動することが基本となる利用者本位のサービスの実施が求められる職場です。

また、乳幼児から老人、障害者と対象も広く、入所・通所・訪問・居宅介護支援など、形態も様々で従事する職員個人の知識やスキルなどの幅の広さが求められます。

しかし、これらの組織は施設の目的に適した編成になっていることが多く職員一人ひとりが持つノウハウ・知識・経験を活かすために施設を越えた交流が重要になってきます。

そのため、関係者の対話とコミュニケーションによる経験の共有が仕事の質の向上に大きな影響を与えることから日頃の経験が気楽に交換できる場の設定も重要と言えます。

また、「福祉の受け手はお客様」「選ばれる福祉サービス」の時代です。そのために“質の高いサービス”を生み出す努力が必要です、利用者がお客様となれば、今まで遠慮して口にしなかった苦情の解決も求められてきます、お客様の希望に適切に応えられるために福祉の分野にも企業努力が求められるのです。

福祉改革により、これからの福祉事業の経営には「顧客本位」と「全員参加」と「継続的な改善」を進める活動が不可欠となってきます。

たとえば、職場にはいろいろな問題が発生するものです、その問題を放っておくと段々と大きくなり取り返しのつかない状況に追い込まれてしまいます。

1：29：300の法則（ハインリヒの法則）、これは一つの問題の奥には29もの中問題があり、29の中問題の奥には300もの小問題があるとされています、それらの問題を日常業務の中で解決していくことが“利用者へのサービス”につながっていきます。

民間企業では、1948年からQC手法を導入し、そのQCサークル活動を通して企業が発展してきました、既に、福祉の職場でもQCサークル活動に取り組んでいる所もあります。

問題の解決には有効的で且つ効率的な『手段や方法』が必要です。問題の解決を体系的に捉えて解決を図っていく手段である『QC手法』を勉強します。

講演 課題解決研修会 “職場の改善は、自分達で”

講師 エム・アール・シー 足坂三長・井ノ口美津子

1. 利用者サービスの向上

（1）介護・福祉施設の活動

- (2) 問題とは、問題の捉え方
- (3) 問題解決の三要素
- 2. 問題解決の進め方
 - (1) ブレストーミング
 - (2) 問題解決の手順
 - (3) 改善ステップの例
- 3. 職場の問題点の発見
 - (1) 問題発見の着目点
 - (2) 問題点の洗い出し
 - (3) テーマの選定 グループ討議
- 4. テーマに沿った解決の実施
 - (1) 特性要因図について
 - (2) 特性要因の作成 グループ討議
 - (3) 改善要因の抽出
 - (4) 対策の立て方（6W3H） グループ討議
- 5. 問題解決の発表
 - (1) テーマ選択から対策まで
各グループ毎
- 6. QC活動の意義



受講生の感想

どこの施設でも同じ問題を抱えておりその解決をするのに苦労していることが分かった、職員間の連携不足や時間がないなど課題問題を抱えている、この研修で問題解決方法の糸口が出来た、お互い意見を出し合い大変勉強になりました、まとまりのある研修会でした。

第8回 リーダー育成研修会（8）

（参加 19施設 28名）12月12日

法人（愛恵会・長寿会・むつみ会・三重高齢者福祉会・斎宮会・笠木御所桜会・キングスガーデン三重・吉清会・多気町社協・玉城町社協・宮川福祉施設組合・青松園・明合乃里会・菊寿会・杏南会・千草きらら会・青山福祉会）

この研修会は、お互いが協力しあいながら進めていきます、相手の鏡となり素直な心でフィードバックをしてお互いの成長のお手伝いをして下さい。素直な気持ちで精一杯取り組んで下さい。その量だけ自分のものにする事ができます。

職場でお客様へのサービスを円滑に進めていく為には良い人間関係とチームワークが大事になり、その善し悪しは職員一人ひとりのコミュニケーションのあり方にかかってきます。

施設では人材がとても大切です、また職場においても人材は業績を大きく影響を与えます、職員の中でもリーダーになる職員の影響も大きくなります。

今、注目されております職員研修で集団を統率し、人を動かしリーダーシップを発揮していく職員の養成、職場の中でも部下に対して「期待」「関心」を持ち成長に必要なポイントにきずかせ自己啓発をさせ成長を促し部下の指導をしていく上で特に必要になるコーチング技術の習得を目的として参加者が実践的なコーチング内容の会話を作り実習に取り入れた研修であります。



講演 リーダー研修 “CSの心を高めよう!”

講師 エム・アール・シー 足坂三長・井ノ口美津子

1. オリエンテーション

2. チームワーク

グループ作業（実習）、活動のポイント、コミュニケーションとは

3. コーチングの基礎

ティーチングとコーチングの違い、コーチングの三原則、コーチングの話法（導入→会話（事例）→確認）、話し方の工夫

4. コーチングの実習
コーチングの会話(コメント)、指導ストーリー作成、一人二組で実践、
タイプ別コーチング
5. リーダーシップ
リーダーシップの定義、指導者のあり方、リーダーの心得
6. まとめ



参加者 全員写真

受講生の感想

チームワークの大切さコーチングの難しさを知りました、頭ごなしに言うのではなく相手から引き出す事の大切さを知った、コミュニケーションの大切さ、他施設の意見が聞けた、研修で学んだ事を活かして行きたい、リーダーとしてだけでなく此れからの仕事の上で役に立ちました、コーチング・ティチングの難しさを知った。

第16回吉田福祉基金杯GB大会

後援（財）吉田福祉基金 5月12日

年々チームが減少するなか吉田福祉基金杯ゲートボール大会は県下の大会においても一番大きな大会となり本年度も県内各ブロックから大会参加希望が沢山伝えられた、本大会ではより多くのチームが参加出来るよう多気スポーツ公園野球場に12面のコートを作り大会を実施した。

天候に恵まれゲートボール会場に春の日差しがそそぐなか多数の来賓を迎え県下72チームから420名の役員、選手が参加し前年度優勝の天啓クラブB主将の選手宣誓により競技を開始し選手たちは優勝に向かいチーム一丸となり一つでも多くのゲートを通過させようと日頃の練習成果を発揮し真剣にプレーしチーム間の融和を図りながら和気あいあいに競技を進めた。

優 勝 伊賀オールズ（伊賀市）チーム
準優勝 天啓クラブB（多気町）チーム
3 位 伊勢上野（伊勢市）チーム



久保行央大会会長挨拶



開会式



選手宣誓



大会競技



優勝 伊賀オールズ（伊賀市）チーム